

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

AG PRESS

大学だより

Jan. 2017 [vol.201]



〔特集〕

人と、地域と、 絆がつながる 愛学流ボランティア

TOP MESSAGE

新年のご挨拶

シューカツの現場から
エントリーシート

放光台

(名城公園キャンパス)

都心の喧騒から離れ、心静かに自分自身と向き合うための坐禅室「放光台」。モダンな感性を取り入れた空間には禅の精神が息づき、曹洞宗の教えを基とする建学の精神「行学一体・報恩感謝」を守り継いでいます。

巻頭言

—— 新年の
ご挨拶 2017



一步一步努力を重ねて 向上発展をめざす。

学校法人 愛知学院 学院長 小出 忠孝

私学振興のリーダー校として、
教育研究環境の充実に努める

新年明けましておめでとうございます。平成29年の新春を皆様にはお健やかに迎えられたことお慶び申し上げます。

愛知学院は1876年に設立され、本年創立141周年を迎える中部地区で最も古い歴史と伝統をもつ私学です。戦後の学制改革の際には、将来の高等教育の重要性を予見し、中部地区で最も早く短期大学・4年制大学を創設し、中部地区の高等教育を先導。以来、私立大学のリーダー校として

戦後の私学振興に努めてきました。現在本学は日進、楠元・末盛、名城公園の3つのキャンパスを有しています。そのうち日進キャンパスは、40年前の学院創立100周年の記念事業として、日進地区に取得した50万㎡もの広大な土地に、最新の教育・研究施設と運動用施設、学生駐車場も完備した、理想的な郊外型大学キャンパスです。さらに本学では4年前に名古屋市の中心、名城公園の東の国有地の払下げを受けて、現在ではビジネス系3学部を名古屋市内へ都心回帰させ、新しい教育を始めています。

さらに名城公園キャンパスの南隣地の国有地の払下げを申請しており、買収後には3万1千㎡の土地を都心で手中に収めることができそうです。名古屋市の中心にあり、周囲に官庁街や企業が密集しており就職活動にも最適な土地で、その効の大なる事を期待しています。

また末盛交差点の歯学部附属病院の耐震改築工事については、現在検討委員会で鋭意検討中であり、近く基本方針が決定される予定です。東海地区唯一の歯学部附属病院として恥ずかしくない病院として、再出発させるべく努力を重ねています。

新年を迎えるにあたり、さらなる向上発展をめざして、全教職員一人ひとりが尽力されることを祈念いたします。



官産学連携やグローバル化の促進 大学力向上にむけて改革の継続を

新年あけましておめでとうございます。淑気満つる処、恙無く三元

を迎えました。皆様と共に心新たに新春を迎えたいと思います。本年が皆様にとってよりよき歳となりますよう心より願っております。

愛知学院は、本年、創立141周年を迎えます。建学の精神である「行学一体」「報恩感謝」を堅持しつつ、現代社会に適合した「知の実践と人格の形成」、ならびに「主体的に周囲と協働しつつ感謝の心を忘れない」人材の育成に努力しています。

学生諸君には、人として豊かな人間性と高い倫理観を兼ね備え、専門的な知識を習得して社会に貢献していただきたいと望んでいます。協調・協働の精神と感謝の想いをもって、自らが学び得た知識技術を発揮できる人材をこれからも育て続けてまいります。そのためには、教職員各位が等しく大学の

研究と教育の府としての 使命を果たすべく 邁進する。

愛知学院大学
学長
佐藤 悦成

現況を理解し、一致協力して「和」の心で知見と情報の共有を進め、自分に誇りを持って職務を誠実に遂行することを願っています。

現在、本学が取り組んでいます教育の充実、官産学との連携の促進、グローバル化への積極的取り組み等は、大学力向上に必須の要件です。大学を取り巻く昨今の厳しい社会環境の中に在っては、学内が一致協力して難局に対処してゆくことが不可欠です。本学の教育目標を実現するためには、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）を、向上へのスパイラルで描きつつ、充実した改革を継続的に進めたいと考えています。その中で、学生諸君が「思考力」「表現力」「実行力」「創造力」を養うことが時代の要請に込められる大学の姿と考えています。本年も引き続き、厚いご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご多幸とご繁栄を心より祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

新春を迎え学生はじめ教職員、学院関係者の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと存じます。今年も愛知学院の飛躍のためにご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて昨年は、創立140周年の節目の年を迎え、本年は創立150周年に向けての初年度を迎えます。すでにご周知のことと存じますが、名城公園キャンパス隣地の取得に向けて手続きを進めております。今後、学内の教学、行政、施設整備関係などを調整しながら、ビジネス系3学部に加え、地域の先端的な社会科学の拠点として、教育強化と人材育成に取り組んでまいります。今後とも保護者の方々の深いご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。大学後援会の活動も新年度に向けての総括の時期になりました。昨年を振り返りますと、各地の支部懇談会では、大学側から好調な就職状況が報告される中、志望先の選定に悩まれたり、学習状況について心配されたりする保護者の方々の思いも耳にしました。後援会は、このようなお気持ちに寄り添いながら、全学生が順調に所期の目的を達成できるように支援させていただく所存です。今年もご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



全学生が順調に目標を達成できるよう支援する。

愛知学院大学
後援会会長
水野 和夫



先端的な学びの拠点としてさらなる拡充を図る年に。

学校法人 愛知学院
理事長
中野 重哉

AG NEWS FILE

キャンパス発、旬のトピックスをご紹介します。

三重県と「就職支援に関する協定」を締結。

TOPICS
03

本学と三重県は、三重県の地域経済を支える人材の育成・確保に向けて相互に連携・協力することに合意し、「就職支援に関する協定」を締結しました。協定締結により、三重県内企業情報の提供やインターンシップ受け入れ支援、各種イベントの開催など相互に連携・協力した就職支援を実施していきます。また、三重県の魅力や県内の暮らしに関するメリットなども同時に発信することにより、三重県への就職希望者が増加することも期待されます。10月17日(月)に三重県庁にて執り行われた調印式には、本学から佐藤学長や伊藤キャリアセンター事務部長らが出席し、鈴木知事との間で相互連携が合意されました。



平成28年度秋季学位記授与式を举行

TOPICS
04

平成28年度秋季学位記授与式が9月30日(金)、日進・名城公園(日進との遠隔)・楠元キャンパスにおいて、それぞれ行われました。対象となったのは学部生58名、大学院博士課程前期修了者1名。各キャンパスとも佐藤悦成学長が式辞を述べ、本学を巣立つ学生を激励しました。卒業、修了された方の今後の活躍を祈念します。

140周年記念式典を举行

TOPICS
01

愛知学院創立140周年記念式典が、10月15日(土)に日進キャンパス100周年記念講堂で举行されました。式典では小出忠孝学院長の式辞に続き、平成28年度永年勤続表彰、クラブ表彰、特別表彰(歯学部歯学体優勝)が行われ、50名の教職員、85名のクラブ学生、24団体のクラブが表彰されました。続いて水野和夫後援会長ならびに伊藤桂子法学部同窓会長が祝辞を述べ、全員で校歌を斉唱。更なる飛躍を誓い、終了しました。



本学と臨沂大学で学生交流協定

TOPICS
02

本学とかねてより交流のあった中国の臨沂大学と、この度学生交流協定を結ぶこととなりました。臨沂大学は中国山東省臨沂市におよそ400万㎡のキャンパスを有し、25学部、約4万人の学生が在籍する総合大学です。本学経営学研究科の修了生が会長を務める企業グループと、同大が提携して学部を設置していることなどをきっかけに、平成26年に学術交流協定の覚書を交わしており、今回は学生の交流に関する協定を新たに締結しました。今後は両大間で交換留学生制度を行うなど、学生の交流を図っていく予定です。

人と、地域と、 絆がつながる 愛学流 ボランティア

自分のできることを、自らの意思で無償で行う。

愛知学院大学のボランティアは、人間同士が対等につながる活動です。

社会に目を向けて問題を提起し、お互いを尊重し合い、協力しながら解決する経験は、
建学の精神「行学一体、報恩感謝」を具現化した有意義な学びの機会でもあります。

今や、多彩で自由な発想に基づく学生たちの活動は地域社会をはじめ行政や企業、

日本や国際社会の発展を支える重要な役割を担っています。

温かな人とのふれあい、多くの気づきや学び、

活動をととして生まれた絆が実社会を

生き抜く力を養っています。

東日本大震災ボランティア 6回目の夏を終えて。

愛知学院大学では、震災直後よりさまざまな被災地への支援を行ってきました。
毎年夏休みに6日間の日程で行う、学生や職員による被災地ボランティア活動も
その1つ。毎年、参加する学生たちを大きく成長させる貴重な機会となっています。

VOICE 01

東日本大震災ボランティアには昨年に続き2度目の参加となりました。震災から5年以上経過しても復興は道半ばで、被災地から人がいなくなっているように感じました。復興が進まないの、戻ってこれない人が多いという現地の方の声に事態の深刻さを改めて感じましたね。だからこそ、私達が実際に見て感じた被災地の「今」を、多くの人に知ってもらいたい。現地の方とのつながりを大切にし、活動を継続していかなければならないと思います。

文学部歴史学科3年 杉山 寛人

VOICE 02

今回の活動では子どもと接する機会が多かったので、子どもの行動や、その時々感情について理解が深まりました。さまざまな企画を通して、相手が話しやすいように質問をするなど、コミュニケーション面でも成長できたと思います。いちばん印象に残っているのは、民泊先で被災された方のお話を聞いたこと。「この震災のことを、周りの若い世代に伝えてほしい」と言われ、現地で見たこと、聞いたことをしっかり伝えなければと強く思いました。

心身科学部健康科学科2年 田根 幸那



▲岩手県上閉伊郡
大槌町にて、仮設住宅の
みなさんとともに。

岩手県気仙郡
住田町役場前、
学童保育所の
子どもたちと。▼



▲住田町仮設住宅での
草取り



▲大槌町仮設住宅の
みなさんと一緒に、プレスレッドやステンドグラス、
鬼まんじゅうづくりを楽しみました。



▲11月、学生・教職員対象の
ボランティア報告会を行いました。

誰かの役に立てる喜び!

愛ある学びを 活かしたボランティア。

愛知学院大学では学部や学科ごとに、それぞれの学びを活かした多彩な活動を行っています。そのうちのいくつかをご紹介します。

薬学部

薬学部くすり箱



「薬学部くすり箱」とは、実際に使われている薬を使った実験を通して一般の方に薬に興味を持ってもらい、正しく使用方法を知ってもらうボランティア活動です。10月30日に開催された津島市健康まつりでは、シャボン液にヒアルロン酸を添加して割れにくくしたシャボン玉や、胃薬を牛乳に滴下して作る人ロイクラなど、4つのおもしろ科学実験を行いました。参加者は子どもと大人合わせて276人に上り、大変盛況でした。ほかに、あいち健康の森薬草園での地域住民への生活習慣病予防啓発活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

心身科学部健康科学科

スポーツ界を 多方面からサポート



「シーホース三河」 ホームゲームの運営サポート

プロバスケットボールチーム「シーホース三河」のホームゲーム運営をサポートしています。ホームゲームでのイベントなども企画・実施しています。



競泳日本代表のサポート

バイオメカニクスの理論に基づいて、競泳日本代表チームを科学的にサポート。指導教員が日本水泳連盟科学委員としてパフォーマンス向上に携わり、学生も参加しています。

歯学部&歯科衛生学科

フィリピン・ 歯科ボランティア



歯科治療に保険診療がなく治療代が高額になってしまうフィリピンで、歯科医療を必要とする人々に対して、抜歯、う蝕(虫歯)の治療、歯のクリーニングなどを行うボランティア活動。本学歯学部と学術交流協定を結ぶイースト大学と本学歯学部同窓会との共同医療活動として1997年から続いています。今年度も短期大学部歯科衛生学科の学生が参加して8月13・14日に実施されました。当初予定していたテントでの活動を大雨のため断念し、急遽イースト大学病院内の学生用診療室に患者さんを送迎しての診療となりましたが、2日間で約150名を診療。歯科衛生士に必要な専門性と人間性を養う機会となりました。

心身科学部健康科学科

仮設住宅で ハンドトリートメント

養護教諭を志望する学生が東日本大震災で被災した気仙沼市の仮設住宅を訪れ、地元の方々にハンドトリートメント施術。心と身体のケアに貢献しました。



◆ 愛学流ボランティアの司令塔、AGUボランティアセンター。

今や年間40件にのぼるボランティア活動の中核を担うAGUボランティアセンターは、東日本大震災をきっかけに設立されました。設立当初は大学側からの依頼や協力による企画が中心でしたが、次第に学生たちが主体的に地域と協力して行う活動が主力を占めるようになりました。日進キャンパス、名城公園キャンパスともに活動範囲が広がっています。



日進キャンパスで開催された「学童サマースクール」



名城公園キャンパス周辺地域の清掃活動「くりりん」



4月に発生した熊本地震の義援金募金活動



名城公園キャンパスの近辺で行われた柳原通商店街夏祭りのボランティア

VOICE 03

「みんなの運動会」に 参加して学んだこと。

「老若男女、障害の有無に関わらず、全ての人が普通の生活ができればいいよね」という考え方のもと、その実現をめざして開催されている「みんなの運動会」。企画や当日スタッフとして参加する学生をはじめ、さまざまな年代の人たちが1つの運動会を作り上げています。私は企画者として初めて参加し、当日は司会も担当しました。最初は予想以上の人数に緊張していましたが、参加された方々の笑顔や楽しそうな様子を見て緊張もほぐれ、気がつけば私自身とても楽しんでいました。この経験を通して、ノーマライゼーションという考え方やボランティアが以前よりずっと好きになりました。そしてボランティアは相手に喜んでもらってこそ出来るということを学びました。来年もぜひ参加したいです。



ブログでも情報を発信! ▶ <http://ameblo.jp/agu-avc/>

心身科学部健康栄養学科1年 中野 里南

REPORT



第64回愛学祭、 第3回MKC愛学祭開催

昨年10月29日(土)・30日(日)、第64回愛学祭が日進キャンパスで開催され、約1万名の方が来場しました。東日本ボランティア学生による若手郷土料理「ひつま汁」の販売や、「コロロオークション」さん、「Halo at 四畳半」さんのライブステージなどが行われ会場は大盛況。最後の打上げ花火で最高の盛り上がりを見せ、無事に閉幕しました。また、10月16日(日)に名城公園キャンパスで開催された第3回MKC愛学祭には、約1000名の方が来場。同日開催の名古屋市北区の区民祭りと連携し、地域との交流を深める学祭となりました。



NEWS



ラオス・ベトナム両国と 積極的交流

本学に本部があり、夏目長門歯学部特殊診療科教授を中心とした「日本口腔蓋裂協会」が以前より積極的に医療貢献してきたラオス国。今夏、中野理事長がラオス国に赴き、ラオス健康科学大学を公式訪問しました。また、ベトナム国に対しては本協会が以前より人道援助していたこともあり、愛知県の国際化戦略の一環として行われた、愛知県とホーチミン市との交流協定締結に同行。協定では人道援助のために、愛知県に本社のある(株)スズケンの協力のもと日本の医薬品を輸出して、医療協力事業を展開することが決まりました。今後も、両国との関係のさらなる発展が期待されています。

REPORT



文学部グローバル英語学科 学生がJTB東海の店舗で 旅行カウンター業務を体験

文学部グローバル英語学科の学生10名(松岡ゼミ)が、JTB東海のカウンター業務体験研修に参加しました。最初にカウンター内で説明を受け、パンフレットの陳列方法や店づくりを見学しました。その後、カウンタースタッフの方からカウンター業務の心構えやお客様の獲得に対する考え方を学習。旅行商品のカウンター販売では、お客様からのあらゆるご要望に的確に答える知識と高度な接客能力が求められます。学生たちは今回の体験型授業を通じ、旅行カウンター業務に必要なホスピタリティ・マインド(おもてなしの心)を修得することができました。今後は、JTBグループとの産学連携による教育旅行(教育観光)の連携授業を予定しています。



NEWS



本学職務発明が 意匠登録されました

本学より単独で出願した「手術用剥離子」の形状が、平成28年11月4日(金)付で日本国特許庁に意匠登録(第1564632号)されました。本形状は歯学部の実験室で考案されたもので、この形状による手術用剥離子を使用することで、顎関節手術の時間短縮・安全性向上が期待できるとのことです。今後は東京の手術器械製造会社と共同で、本形状を用いた剥離子を製造・販売していく予定です。

NEWS



2015年 全国社長出身大学調査で 本学が愛知県第1位、 全国20位にランクイン

東京商工リサーチがまとめた2015年「全国社長出身大学」の集計によると、愛知県内に本社を置く企業の社長の出身大学ランキングで本学が愛知県では1770人中第1位、全国では2629人中20位、三重県でも184人中3位にランクインしました。本学はこれまで全国に12万人を超える卒業生を送り出しており、こうした卒業生のネットワークは本学を支える大きな力になっています。

REPORT



商学部の学生が商品開発

商学部の4年生(尾崎ゼミ)が株式会社イトウ珈琲商会との産学連携により、「ドリッパックコーヒー」(AGUブレンド)の商品開発をしました。4月に完成した前作「はじめブレンド」では「学生が飲みたくなるコーヒー」をコンセプトに開発、第1弾として販売しました。今回の第2弾「AGUブレンド」は、コーヒーが好きな方にも満足してもらえるよう独自に改良し、キャンパス内で販売しています。また、同ゼミの3年生は「AGUブレンドに合う水まんじゅう」をコンセプトに、(株)青木商店と共同で水まんじゅう「水まんじゅう」を商品開発。青木商店協力のもと、アビタ港店で9月15日(木)〜9月20日(火)の5日間販売し、大人気を博しました。



平成28年度 永年勤続表彰者

●40年勤続者

技工専門 講師 尾崎双太郎
講師 水谷和裕
歯学 薬学図書館情報センター 事務長補佐 中野弥生
短大 事務室 長 佐野早苗
附属病院 技工部主任 川澄勝久
衛生部主任 三浦依保美
管財課 技術主任 鈴木裕之
経理課 事務職員 安達みどり

●35年勤続者

教養部 教 小村賢二
教 清水義和
教 田中泰賢
歯学部 特設診療科教授 荒木章純
准 教 加藤一夫
准 教 堀場直樹
講 植松康
講 子安和弘
講 山口正孝
ネットワークセンター 事務長 林 奈穂子
附属病院 歯科技工士長 伊藤太志
歯科技工士 中川喜博

●25年勤続者

文学部 学部長教授 上田恒雄
教 松蘭 育
商学部 教 脇田弘久
教 高田正義
准 教 池田健
総務課 外国人教師 ダニエル・ダクリ
課 長 鈴木智良

人事課

主 任 大島由起

管財課

主 任 田中真奈美

名城公園キャンパス事務室

主 任 上原志乃

教務課

主 任 石田美佐

大学院事務室

主 任 塚本ひとみ

学生課

主 任 飯田直子

入試広報課

主 任 梶原佳緒里

総務課

主 任 前田裕子

附属病院

事務職員 板橋佐貴子

歯科技工士

佐藤泰裕

●15年勤続者

経営学部

学部長教授 荒井耕一郎

文学部

教 授 伊藤雅之

商学部

准 教 授 シン・パトリック・テホ

歯学部

准 教 授 吉田 聡

教養部

准 教 授 泉 雅浩

歯学部

准 教 授 藤原琢也

教養部

准 教 授 宮前 真

歯学部

准 教 授 有馬義康

主計課

課長補佐 山内光堂

附属病院

主 任 田島俊英

看護

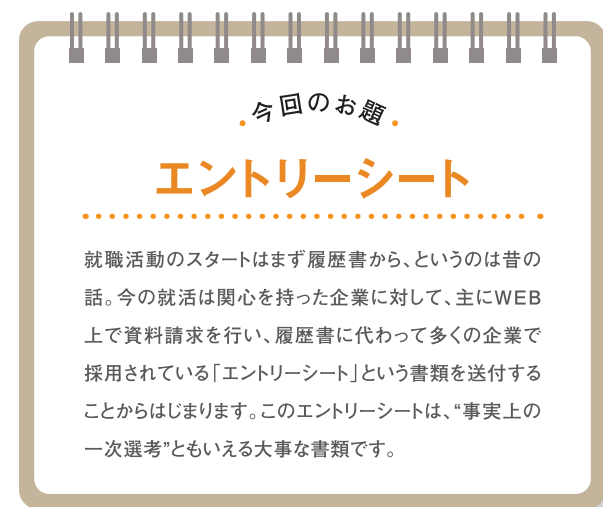
師 橋本小百合

自分のことを理解した上で わかりやすく伝えることが大事。

2015年に行われた調査では、学生一人あたり平均で20社以上にエントリーシートを提出。企業ごとに質問も違えば、記入を求められる文字数や書類の形式も違います。また、手書きのエントリーシートしか受け付けていない企業もあります。書くだけでも大変な作業ですが、一次選考にもあたる書類なので内容がいちばん重要。自分のことをしっかり分析した上で、相手に伝わりやすい文章で表現しなければなりません。そのためには、いろんな人に見てもらって修正しながら、自分らしさがいちばん伝わる言葉やエピソードを探して書くことが大切。キャリアセンターでは、書き方のアドバイスや添削を随時行っているのでは是非活用してください。

保護者はいちばんの理解者。 積極的な関わりを!

エントリーシートでは①自己PR②志望動機③学生時代に打ち込んだことが3大質問といわれています。ところが自信をもってPRできる長所をなかなか思いつかない学生が、意外と多い傾向にあります。自分のことを冷静に把握するのは難しいもの。是非、お子さんとじっくり話し合い、本人が気づいていない長所や能力を伝えてあげてください。最も身近にいる良き理解者からの他己分析は、学生にとって大きな自信になることでしょう。また社会経験の少ない学生は、志望動機をまとめるのにも苦労しがち。業種や職種の違い、社会の仕組みについて普段から話題にすることで、より具体的なイメージを抱けるよう積極的にサポートしてあげてください。



キャリアサポート 通信

採用意欲の高い企業が多数参加!

学内就職セミナー

来る3月1日から、270社以上の企業や自治体に参加する学内の合同説明会を開催します。参加企業は例年、愛学生の採用活動を積極的に行っている企業ばかり。学外の合同説明会よりもじっくりと話を聞ける、OBがいるから心強いなど、学生からの評判も上々です。採用の可能性が高い学内合同説明会に、是非参加してください。

主な参加企業(予定)

- 金融
(株)三井住友銀行
(株)三菱東京UFJ銀行
(株)愛知銀行
(株)名古屋銀行
岡崎信用金庫
愛知信用金庫
(株)オリエントコーポレーション
(株)かんぽ生命保険
- 医薬品・医療
あすか製薬(株)
アルフレッサ(株)
興和(株)
大正製薬グループ
(株)メディセオ
- 食品
井村屋グループ(株)
(株)浜乙女
山崎製パン(株)
- アパレル・繊維
瀧定名古屋(株)
タキヒヨー(株)

- メーカー
アイホン(株)
岐阜プラスチック工業(株)
三甲(株)
スズキ(株)
大同メタル工業(株)
タカスタンダード(株)
東邦液化ガス(株)
マスプロ電工(株)
- 商社
(株)オリバー
キムラユニティー(株)
名鉄協商(株)
- 運輸
東海旅客鉄道(株)
東日本旅客鉄道(株)
(株)東海交通事業
伊勢湾海運(株)
- 住宅・建設・不動産
大和ハウス工業(株)
三井ホーム(株)
(株)フジタ

- 小売
(株)名古屋三越
(株)セブン・イレブン・ジャパン
- ホテル・旅行
(株)ジェイアール東海ホテルズ
JTBグループ
(株)エイチ・アイ・エス
- 印刷
笹徳印刷(株)
凸版印刷(株)
- 情報サービス
日本年金機構
(株)マイナビ

- 公務員
愛知県庁
春日井市役所
日進市役所
豊橋市役所
警視庁
愛知県警察本部
岐阜県警察本部
名古屋消防局
名古屋港管理組合
法務省名古屋矯正管区

ほか多数

・参加学生の声

一般の企業展では、入場に時間がかかる上に待ち時間も長め。大学で開催される場合は、会場も、企業の方も、学生も余裕があるので、じっくりお話を聞くことができ顔も覚えてもらえます。

INFORMATION	
1 月	●海運セミナー 海運業、倉庫業など、名古屋港海運関連企業8社を招いての業界セミナー。
2 月	●第4回就職ガイダンス (学内就職セミナー2016の冊子配付、学内セミナーにおける注意点説明、企業解説、今後の就職支援講座の説明等) ●筆記試験直前対策講座 (SPI・一般常識、WEBテスト、論作文など各種対策) ●面接講座各種 (グループディスカッション、集団面接等)

キャリア センター 伝言板

今後の行事予定

NEWS 10月29・30日に3年生保護者向け 就職ガイダンスが開催されました。

ガイダンスでは、マイナビ副編集長の吉田氏による「現在の就職環境と保護者の役割」の講演や内定学生による体験報告、本学の就職支援プログラムの説明などが行われました。両日の参加者数は410名。遠方からも参加があり、「学生の生の声が聞けて参考になった」などの感想が寄せられました。

ACTIVE REPORT

この夏、海外で学びを深めた学生たちからの報告をご紹介します。

Let's go



2016 海外研修
レポート

海外語学研修



CANADA

ビクトリア大学

経済学部 経済学科3年 風間 健作

映画の中でしか見たことのない光景が、本当にそのままありました。海外旅行も未経験だったので行く前は不安でしたが、人生でいちばん充実した夏休みだったと思います。午前中の授業ではインタビューやプレゼンテーションなどのグループワークが多く、午後のアクティビティでは現地の人と接する機会が多くありました。一体これは何だろう?どんな意味があるの?と、日本とは全く違う世界に驚く毎日。それを英語で尋ねるのも大変だったけど、おかげで1日1日が思い出に残っています。研修を経験した今は、海外で働きたいと思っています。



海外語学研修



UNITED KINGDOM

カンタベリー・クライスト・チャーチ大学

薬学部 医療薬学科1年 河合かおり

私が語学研修を通じて学んだことは、「前向きな姿勢があれば周りは受け入れてくれる」ということ。海外に行ったことのない私の「留学に行きたい、生きた英語を学びたい」という気持ちを両親が理解してくれました。やりたいことや不安を相談した友人たちみんなが、私の背中を押してくれました。イギリスには拙い英語しか話せない私に、熱心に耳を傾け助言をくれるホストファミリーや先生方がいました。行動しなくては、今までと何も変わらない。自分を成長させるためには、自ら積極的に動くべきだと知ることのできた有意義な語学研修でした。



海外語学研修



AUSTRALIA

ボンド大学

経営学部 経営学科2年 杉山 郁馬

私が通ったボンド大学は、多国籍の学生が集まる学校でした。授業のプログラムには体育やオーストラリアの文化を学ぶ授業も含まれており、毎日が充実していました。生活面では、日常的に水不足なのでシャワーの時間を気にしなくてはならないこと、大型ショッピングセンターですら夕方の5時半にしまってしまうことなど、毎日何か発見があり、とても充実していました。オーストラリアは自然も豊か。何十キロも続く海岸線や森に囲まれた動物園など、スケールの大きさも感じました。たった1か月でしたが、忘れられない一生の思い出ができました。



グローバル人材育成プログラム



TAIWAN 台湾コース

慈済科技大学

文学部 国際文化学科3年 小幡 菜美

プログラムでは、台湾式の茶道や書道、華道をはじめ、伝統衣装を着てダンスをしたり、アクセサリを作ったり、肌で異文化を体験できるものから、ヒューマンケア、リサイクル、地球環境まで多くのことを学びました。週末に台湾や他国の学生と一緒に、学生だけで宜蘭という町に電車で1時間半くらいかけて行き、礁溪という温泉街や台湾で最大級の夜市である羅東夜市に行ったことは、特に忘れられない思い出です。2週間という短い間でしたが、お互いを理解し、助け合う中で、国籍を超えてSNSだけでなく今でも続く確かな友情を築くことができたことが宝物です。



グローバル人材育成プログラム



KOREA 韓国コース

東国大学

文学部 国際文化学科4年 光岡 裕記

今回のプログラムには日本全国から10大学、約100名の学生が参加していました。100人もいるとまとまりが無いように思われますが、僕を含めほとんどの学生には共通点がありました。それは、韓流ドラマやK-POPといった韓国の芸能文化が好きという点です。そのおかげで初対面から仲を深めるまで、時間はかかりませんでした。みんなで韓国語の授業を受け、美味しい韓国料理を食べ、時には韓国の大学生とも交流。濃密な2週間を過ごし、プログラム終了後も連絡を取り合う友人もできました。「一期一会」という言葉の偉大さを知りました。

